

自動車地球温暖化対策実施方針

《 1 大規模荷主 》

事業者名	株式会社エー・アンド・デイ	事業所名	開発・技術センター				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
01	環境に配慮している貨物輸送事業者の選定	配送センターのまとめによる配達車両の1本化台数削減			○	○	○
(01)	貨物輸送事業者の環境配慮の確認						
02	モーダルシフトの推進	長距離輸送の場合はJR貨物やフェリーでの輸送			○	○	○
()							
04	積載率の向上	商品荷姿の標準化			○	○	○
(01)	商品の規格又は荷姿の標準化による積載率の向上						
04	積載率の向上	梱包資材にシュリンク材使用			○	○	○
(02)	梱包資材の軽量化・小型化の実施						
04	積載率の向上	チャーター便に積載量に応じた適正車両を使用			○	○	○
(03)	輸送量に応じた適正車種での発注						
05	混載便の利用又は共同輸配送の実施	積極的な混載便の利用			○	○	○
(01)	混載便利用の取組						

自動車地球温暖化対策実施方針

06 低燃費車等の積極的利用及びエコドライブの推進 (03) 貨物輸送事業者に対し、エコドライブの推奨及び実施状況の確認	デジタコメーター使用分析により省エネ運転確認	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (01) 発注時間及び配送時間のルール化	集荷時間のルール作成	○	○	○
07 計画的な貨物輸送の推進 (02) 多頻度少量輸送の見直し	午前午後の定期集荷に統一	○	○	○
08 物流の効率化 (01) サードパーティーロジスティクスの活用	トラック帰りの有効利用	○	○	○
08 物流の効率化 (02) 物流拠点の活用	センター出荷に集中化	○	○	○
08 物流の効率化 (03) 輸送距離及び回数を削減する取組	同一方向の荷物をまとめて配送	○	○	○
09 貨物輸送事業者及び自社関連部門との情報共有 ()	トラックの積み合わせ輸送実施	○	○	○

自動車地球温暖化対策実施方針

10 周辺道路への路上駐停車及びアイドリング防止のための取組 ()	外部道路での作業はしない。	○	○	○
11 その他の必要な取組 (01)	構内搬送の機器に、バッテリー及びLPGタイプを主として使用	○	○	○

《 3 マイカー通勤多数 》

事業者名	株式会社エー・アンド・デイ	事業所名	開発・技術センター				
取組措置		具体的取組措置			H30	H31	H32
02 公共交通機関への転換の推進 (01) 公共交通機関利用促進のための情報提供	路線バスの時刻表を社内のグループウェアに掲載 バス乗り場の看板に路線バスの時刻表を表示	○	○	○			
02 公共交通機関への転換の推進 (02) 送迎バス等の運行	最寄り駅と開発・技術センター間に、朝夕送迎バスを運行している。	○	○	○			
03 自転車への転換の推進 (02) 利用しやすい駐輪場の設置・維持管理	駐輪場に屋根・スタンドを設置している。	○	○	○			